



いよいよ都立高校一次学力検査。受験を
「自分自身を鍛え成長させるチヤ
ンス」と捉え、立ち向かっていきましよう

校長 佐藤 浩

■二月二十一日、いよいよ都立高校一次学力検査です。ベストを尽くしてください。

三年生の高校受験は、一月二十二日の私立推薦入試に始まり、二十六日の都立推薦入試、二月九日から私立一次学力検査です。五十二名の生徒は、心休まることのない日々が続く中で、最後の追い込みに全力を尽くしていると思います。中には、大きな不安を感じ、苦しい思いをしている生徒も少なくないはず。この不安は当然のこと、仕方ないことではありますが、中には、必要以上に不安を感じている生徒がいるのではないかと心配しています。そのような生徒には、決して、自分一人だけが不安であり、苦しいのではないということ、そして、周りの友達はもちろん、日本中の中学三年生が、みんな同じように不安で苦しんでいるということを伝え勇気付けたいと思います。そして、この「受験」という厳しい現実を、「自分自身を鍛え、成長させるチャンス」と前向きに捉え、自分自身の向上に生かしていくことができるよう、たくましくなって欲しいと願っています。自分の可能性と夢を大切に、勇気をもって、「受験」という目の前の壁に立ち向かっていきましょう。五十二名全員が、ベストを尽くし、悔いを残さず帰ってきてくれることを、祈っています。

■体調管理は自己管理

中学生ともなれば体調の管理は、基本的に自分自身の責任で行うものです。すべてが本人の責任だとは言えませんが、ほとんどの場合は本人の管理、自らの努力により未然に防ぐことができるのではないかと考えます。睡眠、栄養をはじめ、軽い運動を継続して行うなど、改めて健康の三原則を意識した行動をとり、特に大事なこの一週間だからこそ、生活リズムをしっかりとして整えていきましょう。

2月の図書展示のテーマは「合格祈願」です！ 頑張れ3年生！！



合格祈願…2月の月例図書展示のテーマです。

日々厳しい状況の中、頑張って受験に立ち向かっている3年生に贈るエールです。

2年生、1年生も、1年後、2年度には、受験と対峙することになります。決して避けて通ることはできません。今月は、たくさんの「受験」にまつわる本を紹介していますので、何か一冊でも読みながら、改めて高校受験、勉強法、そして、学習することの意味などについて、考えてみて欲しいと思います。

それでは、展示本の一部を紹介します。

- 「本当の頭のよさって何だろう」…「勉強ができる＝頭がいい」なのか。
- 「高校入試面接のオキテ」…何を話せば自分をアピールできるのだろうか。
- 「高校入試」…「入試をぶっつぶす！」と書かれた黒板。登場人物全員が怪しい。
- 「東大集中力」…受験で大切なのは「集中力」。効果的な「集中力の引き出し方」を紹介。 どれか一冊、読んでみましょう！



1年生が女神湖移動教室の代替行事として、お台場まで校外学習に行ってきました！

令和4年2月3日（木）、1年生が、スローガン

『お』ミクロン株気をつけて、
『だ』いかい行事を、
『い』っばい楽しんで、
『ば』っちり思い出に残そう

のもと、お台場まで校外学習に行ってきました。

午前中は、写真で示された8つの場所を探し、それ

ぞれの場所で用意された問題に答えるアドベンチャーウォークラリーに班毎に取り組みました。その後、ホテル「グランドニッコー東京 お台場」にて、テーブルマナー教室を受けながら、美味しい料理をじっくりと味わいました。午後は、日本科学未来館を見学しました。1年生は、昨年度（小学校6年生）の日光移動教室、そして、今年度の女神湖移動教室がともに中止となり、非常に残念な思いをしてきました。相変わらずのコロナ禍で、厳しい状況ではありましたが、三密対策を徹底しながらも一生懸命に取り組む生徒の様子に感動しました。無事に終了し元気に帰ってくることができましたが、一日の校外での様子から、生徒の成長を確認できたことが、一番の喜びでした。本当によく頑張りました。それでは、当日の様子を写真と生徒の作文により紹介します。



「人を想う気持ち」

1年C組 Aさん



「テーブルマナーとは、食事中に周囲の方々には不快な思いをさせないための心遣いです。」心遣い。正式な食事会だとあまり顔見知りではない人に心遣いするのは慣れが必要だと思った。テーブルマナー講習の最後、講師の方に、「私の目の前でしたが、とても上手に食事されていました。」といった風に褒めていただいたが、講師の方からは一切緊張するような空気はなかった。それとは逆に「楽しく学んでもらいたい」と、とても広い心で自分たちに指導してもらっていると感じ、全く緊張せず、身持ちよく昼食をとることができた。

お台場を舞台にしたウォークラリーは、班活動、社交性、協調性、そして多様性を育むためにとても重要だと感じた。自分は班長として班員をまとめ問題が起きたら解決する必要があった。作戦も自分の意見を基に、班員の意見を取り入れ考えた。そのためスムーズに進むことができた。

しかし、日本科学未来館で班活動は思うようにはいかなかった。移動するのにその場に留まる人がいたのだ。そのときは「周り見て！移動するよ。」と言っていた。

しかし今思うとあの時自分は他の班員のためとだけ思っているだけではなく、自分が他の所を見たいと思って感情的に言ってしまったのかもしれない。



この校外学習を通し、自分には「想う」が足りないと分かった。「思う」というのは、頭や心だけで考えることだ。「思う」に対し「想う」はより感情がこもっているものだ。

相手の感情を察し、自分や他の人の感情をこめる「想える人」になれるように、多様性を身に付けたいと感じた。



3年生 百人一首大会を開催！ 熱戦が繰り広げられ、大いに盛り上がりました！

令和4年1月25日（金）5・6校時、3年生がアリーナにて、「日本の伝統文化に触れるとともに、古典の学習を深めること、クラスの団結とともに他のクラスとの交流を深めること」を目的として、百人一首大会を行いました。クラス対抗戦と個人戦を行いました。国語の授業で学習した成果が随所で見られ、白熱した戦いが繰り広げられました。



<成績>

- クラス対抗戦…優勝：B組 第2位：A組 第3位：C組
- 個人戦男子…優勝：Bさん（59枚）
2位：Cさん（41枚）
3位：Dさん（24枚）
- 個人戦女子…優勝：Eさん（38枚）、
2位：Fさん（35枚）、
Gさん（35枚）
- <坊主めぐり>…チャンピオン：Hさん（98枚）



コロナ禍ではありましたが、皆さん元気に取り組んでいました。受験に向けて辛い日々が続いていますが、少しホッとできる貴重な時間でもありました。百人一首大会に楽しそうに取り組む3年生の様子を見て、心が温まりました。